

平成19年度ワークショップ事業実施概要  
「オホーツクさきがけワークショップ2007インきたみ」

オホーツク委員会

1. 主催 オホーツク委員会
2. 協力 北見市、津別町、訓子府町、置戸町  
オホーツク21世紀を考える会  
網走開発建設部、網走支庁、網走土木現業所
3. 開催趣旨 オホーツク委員会は、住民と行政職員が一緒に作業を行い、専門家のアドバイスを得ながら将来の地域のあり方を考えるワークショップ事業を平成11年より展開してきた。官民一体となり地域の価値を再発見するこの事業手法は、地域の個性や資源に対して新たな評価を与えると同時に地域の人材発掘、育成の機会となり、新たな広域連携によるまちづくりの契機につながるものである。  
本年度は北見地区を対象とし、「参画と協働」を総合テーマとして、まちづくりへの活用を検討するとともに、共存共栄に向けた広域での展開の提案を試みる。
4. 日程 平成19年8月28日(火)～29(水)  

(	1日目 8月28日(火) 9:00～17:00	)
2日目 29日(水) 9:00～17:30		
18:00～(成果発表)		
5. 会場 北見市  
道立北見体育センター 講堂
6. アドバイザー  
荒田 英知 PHP総合研究所地域政策研究部長
7. 検討テーマ  
  - <総合テーマ：参画と協働～安全・安心のまちづくり>
  - <テーマ1>地域防災と減災
  - <テーマ2>高齢者の暮らし
  - <テーマ3>食の安全と安心
8. ワークショップ参加者  
北見地区4市町職員(2日間を通して参加できる者)  
まちづくり団体メンバー・地域住民  
オホーツク21世紀を考える会会員  
網走開発建設部・網走支庁職員(オホーツク委員会より各機関へ参加依頼)
9. 公開フォーラムの開催  
日時 8月29日 18:00～  
北見市 道立北見体育センター 講堂  
内容 ワークショップの成果発表の場として公開フォーラムを開催する。

## テーマ一覧

総合テーマは「参画と協働～安全・安心のまちづくり」です。「参画」「協働」いずれも、まちづくりの現場で最近良く耳にする言葉ですが、行政と住民それぞれの新たなあり方や役割分担については、まだ明らかになっていないといえます。

そこで、「安全」「安心」をキーワードに以下の3つの具体的なテーマを設けました。いずれも北見地区4市町に共通する地域課題として、参画と協働による解決策を具体的に検討・提案します。

ワークショップでは下記の3つのテーマ毎にチームを編成し、参加者はいずれかのテーマのチームに入ってもらいます。

テーマ1	地域防災と減災	地球温暖化に伴う異常気象などにより、従来は予想しなかったような自然災害が発生しています。地域住民の生命や財産を守るために、行政と住民それぞれが担うべき役割を検討します。
テーマ2	高齢者の暮らし	少子高齢化の進展によって、地域のコミュニティ機能の低下が危惧されるようになってきました。積雪期も含め、高齢者の暮らしをどのように守ることができるか検討します。
テーマ3	食の安全と安心	スローフードや食育など、食への関心はかつてなく高まっています。一次産業を主要な生業とするこの地域において、地域戦略としての食の安全と安心について検討します。

## 講師プロフィール



### 荒田英知氏 PHP総合研究所地域政策研究部長

1962年、福岡県生まれ。85年、鹿児島大学法文学部卒業。同年PHP総合研究所入所。87年から、同研究所内に松下幸之助が設立した政策提言機構「世界を考える京都座会」の事務局に勤務し、各種研究プロジェクトのコーディネーターを務める。その後、地域政策分野の研究に専念。独自の視点からの自主研究や講演活動に取り組んでいる。

近年は、全国各地の地域連携や広域行政、市町村合併などをフィールドワーク。地域再生の諸方策について研究・活動している。

オホーツク委員会の取り組みにはスタート時より参加。07年7月まで北海道大学公共政策大学院特任教授を務めた。